

Yoshida Brothers × Les Frères Special Collaboration Concert

日本の音楽シーンで津軽三味線の第一人者として、新たな可能性を示し続けてきた吉田兄弟。兄弟による独創的な1台4手連弾「キャトルマンスタイル」で、コンポーザー&ピアニストとして、聴く人の魂を揺さぶる音を生み出してきたレ・フレール。それぞれのジャンルを代表する津軽三味線とピアノ

の卓越したパフォーマンスと、クライマックスは2つの兄弟ユニットが織りなす和と洋の唯一無二のコラボレーション。この日のここでしか体感できないスペシャルなコンサートは、邦楽やピアノファンだけでなく、すべての方に音楽の楽しさと可能性を感じていただけるステージです。

吉田兄弟



【吉田兄弟】

吉田良一郎 1977年7月26日生

吉田健一 1979年12月16日生

北海道登別市出身

ともに5歳より三味線を習い始め、1990年より津軽三味線奏者 初代佐々木孝に師事。

津軽三味線の全国大会で頭角を現し、1999年アルバム「いぶぎ」でメジャーデビュー。

邦楽界では異例のヒットを記録し、以降、現在まで13枚のアルバム他をリリース。

2003年の全米デビュー以降、アメリカ・ヨーロッパ・アジア・オセアニア等、世界各国での活動や、様々なアーティストとのコラボレーションも積極的に行っている。

2016年6月、吉田兄弟×MONKEY MAJIKのコラボ・シングル「criminal」が発売。

2017年は、400万回再生された話

題のRed Bull WEBムービー ジェーンソンの新作に楽曲を提供したり、映画「KUBO 古本本の弦の秘密」オリジナル・サウンドトラック日本語吹替え版主題歌:吉田兄弟カバーによる「WHILE MY GUITAR GENTLY WEEPS」を手掛ける。

2018年2月7日には 両曲を収録したアルバム「Cool Spiral / WHILE MY GUITAR GENTLY WEEPS」を発売&配信している。

また近年、良一郎は代表的な和楽器(三味線・尺八・箏・太鼓)による学校公演を中心とした新・純邦楽ユニット『WASABI』を始動させ、健一は若手トップクラスの奏者が集結した津軽三味線集団『疾風』をプロデュースするなど個々の活動の幅も広げ、日本の伝統芸能の枠を超えて、ワールドワイドに活躍できるアーティストとして期待されている。

<http://www.yoshida-brothers.jp>

Les Frères レ・フレール



斎藤守也(さいとうもりや・兄)と斎藤圭士(さいとうけいし・弟)の兄弟によるピアノデュオ。ともに15歳よりルクセンブルク国立音楽学校に留学。コンポーザー・ピアニストとしてオリジナル楽曲の制作とライブを両軸に活動。独創的な楽曲とピアノプレイスタイル「キャトルマンスタイル」を兄弟二人で確立。

2002年9月3日、出身地・横須賀において「レ・フレール」(フランス語で「兄弟」を意味する)として活動を開始。その斬新かつ繊細なプレイスタイル(1台4手連弾)、交響曲や器楽セッションを想起させるオリジナル楽曲、そしてライブパフォーマンスにより瞬く間に日本全国で「ピアノ革命」と話題に。テレビCM・舞台・映画など多方面にわ

たる楽曲制作・提供も行っている。

ジャンルを問わず、あらゆる年齢層を惹き付け、聴く人の魂を揺さぶる熱いオリジナルサウンドは着実に評価を高め、ピアノ一台で世界各国の聴衆を熱狂の渦に巻き込んでいる。

「こどもたちへの音楽支援活動」を通じ、次世代のこどもたちへの芸術文化発展にも大きな力を注ぎ、「レ・フレール」という唯一無二の音楽ジャンルを形成しながら世界に向けて発信し続けている。

2017年9月には5枚目となるアルバム『Piano Infinity』(Universal Music)をリリース。

●オフィシャルサイト

<http://lesfreres.jp/>



長良川国際会議場

岐阜市長良福光2695-2 TEL.058-296-1200

駐車場が十分ございませんので公共交通機関をご利用ください。

■バスでのアクセス

○岐阜バス「市内ループ線」で長良川国際会議場北口下車(徒歩2分)。

○「三田洞線K50・K55」で長良川国際会議場前下車(徒歩2分)。